

米谷出張所だより

〈令和4年12月20日〉

米谷出張所は、岩手県境から分流施設上流までの北上川を管理しています。
ここでは、出張所管内での様々な活動をお知らせいたします。

寒くて、灯油使うこと増えたよね？



うんうん

タンクからの油流出事故にご注意を！

ひびひひび



きれいな川を守ろう 油漏れを防ぐための心掛け

* その場を離れない目を離さない

ホームタンクなどから灯油を小分けする時は絶対にその場を離れない。

* 屋根からの落雪や除雪時に注意

屋根からの落雪や除雪作業で、ホームタンクや給油管が破損していないか注意しましょう。

* 定期点検を怠らない

配管やホームタンクの定期点検に努めましょう。

* 配管の場所には目印を

配管の破損を防ぐために雪囲いをしたり、配管の場所が雪でわからなくならないように目印を立てておきましょう。



万一、油を流出させてしまったら… **消防署、または市役所へ、すぐに連絡を！！**



裏面「ホームタンクの点検シート」で確認しましょう



回収・処理に要した費用は、〈原因者〉の負担となります！



河川法コラム



水質事故を起こすとどうなる？

水質事故は、人の故意または事業所や工場の機械の故障・誤操作などにより、油類や有害物質等が河川に流出する事故をいいます。水質事故が発生すると、以下のような異常が発生します。

【河川の異常】

- ・ 河川水への油膜、着色、異臭など
- ・ 貧酸素状態
(水中に溶けている酸素濃度が低下すること)



【異常発生による被害】

- ・ 水道水の取水停止
- ・ 人体への健康被害
- ・ 河川の生態系への被害
(魚の斃死(へいし)等)

水質事故を起こした場合、流出箇所の処理、土壌の処理、河川への流出防止等の処理は原因者が行うことが基本となります。しかし、緊急を要するため、消防や市町村、県や国が処理を行う場合があり、処置費用については後日原因者へ請求することになります。

河川法第18条

※ 文章を簡略化しています。

河川を損傷若しくは汚損した行為によって生じた河川の維持を原因者に行わせることができる。

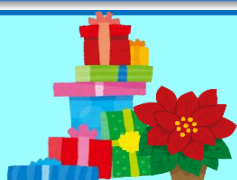
河川法第67条

※ 文章を簡略化しています。

河川管理者は他の行為により必要を生じた河川維持に要する費用については当該地の行為につき費用を負担する者にその全部又は一部を負担させるものとする。



良いお年をお迎えください



国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所 米谷出張所

〒987-0902 宮城県登米市東和町米谷字古館5-4 TEL 0220(42)2211 FAX 0220(42)2249

北上川下流河川事務所ホームページ URL : <https://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/index.html>



ホームタンクの点検シート

江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会
北上川水系水質汚濁対策連絡協議会 下流支局

区分	点検内容	はい	いいえ
周囲	タンクや配管の付近から、強い油臭がする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	タンク下の土やアスファルトが、油で浸みている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	落雪、投雪する場所に、タンクや配管がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	側溝や水路、河川に、油が浮いている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
タンク本体	タンクが固定されていない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	脚部に、歪みやグラつき、傾きがある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	外面に、小さな穴や錆など変形、腐食、亀裂がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	油量計が、故障や破損している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ストレーナカップに、ひび割れや緩みが発生している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
配管	油滲、油漏れがある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	配管や給油ホースに、劣化（亀裂、腐食など）がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	接続不良が見られる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	配管やホースから、油滲、油漏がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	以前と比べ、燃料（ゲージ）の減り方が早い。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	以前と比べ、給油量、給油回数が多くなった。給油間隔が短くなった。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	機器に、燃料が供給されなくなった。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	しばらく定期点検をしていない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	故障や破損を指摘されたが、放置している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

一つでも「はい」の場合は、燃料業者やホームタンク業者等の専門業者へ相談してみましょう。
ボイラーやロードヒーティング等の油類を使用する機器も点検しましょう。

給油の時には

- その場を離れない。
- 目を離さない。 < 目を離してしまった！ が、一番多い油事故の原因です >
- 栓を閉めたかを確認する。（閉めたはず、、、は再確認しましょう）

万が一、油を流出させてしまったら

- バルブ、遮断弁を閉じる。
- 消防署、または市役所・町村役場へ、すぐに連絡する。
- 布や新聞紙等で流れ出ない措置をする。

その他の注意事項

- 除草や除雪、雪下ろし時に、タンクや配管を破損、転倒させないように目印を立てましょう。
- 使われていないタンクは、タンクを空にして、元栓を閉めましょう。
- 防油堤が有る場合、溜まった雨水を排水しましょう。水抜き栓は閉めておきましょう。